

## 地球温暖化対策実施状況報告書

令和 6 年 8 月 1 日

香川県知事 殿

報告者

住所 香川県高松市浜ノ町8番33号

氏名 四国旅客鉄道株式会社

代表取締役社長

四之宮和幸

香川県生活環境の保全に関する条例第94条第5項の規定により、地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況について、次のとおり報告します。

事業者の主たる業種	42 鉄道業
事業者の種類	<input type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第1号に該当する事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 香川県生活環境の保全に関する条例施行規則第64条第2号に該当する事業者
事業の概要	旅客鉄道業
事業所の名称及び所在地	別紙1のとおり
地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況	様式2のとおり
実施状況の公表予定年月日	令和 6 年 11 月 29 日
実施状況の公表の方法	インターネットの利用により公表する。 公表場所：弊社ホームページ
連絡先	担当部署 総合企画本部 担当者 藤島 敬史 電話番号 090-2858-7810 FAX番号 - 電子メールアドレス fujishima-t@jr-shikoku.co.jp

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。

(別紙1)

## 事業所の名称及び所在地

令和6年6月1日現在

線 別	駅 名	所在地 (駅中心付近の主要地番)
予讃線	高松	高松市浜ノ町 1-197
予讃線	香西	高松市香西東町 607-3
予讃線	鬼無	高松市鬼無町佐藤 17-2
予讃線	端岡	高松市新居字本村 472-2
予讃線	国分	高松市国分字新開 1051-2
予讃線	讃岐府中	坂出市府中町字新宮 986-3
予讃線	鴨川	坂出市府中町字西福寺 6004-1
予讃線	八十場	坂出市西庄町字下々所 831-3
予讃線	坂出	坂出市元町一丁目 3722-6
予讃線	宇多津	綾歌郡宇多津町浜五番丁 49-2
予讃線	丸亀	丸亀市新町 6-3
予讃線	讃岐塩屋	丸亀市塩屋町三丁目 917-2
予讃線	多度津	仲多度郡多度津町栄町三丁目 甲31-2
予讃線	海岸寺	仲多度郡多度津町大字西白方字川向 845-1
予讃線	津島ノ宮 (臨)	三豊市大字大見字宮尾 甲6887-2
予讃線	詫間	三豊市大字松崎字浜 708-3
予讃線	みの	三豊市大字下高瀬字寺前 2019-3
予讃線	高瀬	三豊市大字新名字松下 714-1
予讃線	比地大	三豊市大字比地大字政本 2506-3
予讃線	本山	三豊市大字本山甲字木ノ本東 1597
予讃線	観音寺	観音寺市観音寺町字下井 甲1516-2
予讃線	豊浜	観音寺市大字姫浜字上林 620
予讃線	箕浦	観音寺市大字箕浦字四の松 甲975-3
土讃線	金蔵寺	善通寺市金蔵寺町字本村 1230-2
土讃線	善通寺	善通寺市文京町一丁目 592
土讃線	琴平	仲多度郡琴平町榎井字横瀬 864
土讃線	塩入	仲多度郡まんのう町大字十郷字帆山東原 179-2
土讃線	黒川	仲多度郡まんのう町大字十郷字新目平柴 117-2
土讃線	讃岐財田	三豊市財田上字高木 7279-1
高德線	昭和町	高松市昭和町二丁目 240-4
高德線	栗林公園北口	高松市中野町字貝ノ口 364-2
高德線	栗林	高松市藤塚町三丁目 161-2
高德線	木太町	高松市木太町字東新開 3065-3
高德線	屋島	高松市高松町字帰来 78-4
高德線	古高松南	高松市高松町字津ノ村 2029-5
高德線	八栗口	高松市大字牟礼字中代 257-3
高德線	讃岐牟礼	高松市大字大町字鑑田 1392-3
高德線	志度	さぬき市志度字御所 488-2
高德線	オレンジタウン	さぬき市志度字鳥打谷 5052-2
高德線	造田	さぬき市造田野間田字西内間 698-2
高德線	神前	さぬき市寒川町神前字山崎 1629-3
高德線	讃岐津田	さぬき市津田町津田字南上所 887-1
高德線	鶴羽	さぬき市津田町鶴羽字岡ノ端 1657-4
高德線	丹生	東かがわ市馬篠字土居 44-2
高德線	三本松	東かがわ市三本松 1126-4
高德線	讃岐白鳥	東かがわ市松原字本村 651-2
高德線	引田	東かがわ市引田字沖代 700-2
高德線	讃岐相生	東かがわ市南野字佃 822-2

事業所名	所在地
本社	高松市浜ノ町8-33
研修センター	高松市西町32-16
高松診療所	高松市浜ノ町8-24
JR四国ツアー高松支店	高松市浜ノ町1-20

ワープ香川中部支店	綾歌郡宇多津町平山2628-168
高松運転所（乗務員）	高松市浜ノ町8-33
高松運転所（車両検修）	高松市西町32-16
多度津運転区	仲多度郡多度津町栄町3-3-1-8
多度津工場	仲多度郡多度津町大通り4-5
高松保線区	高松市浜ノ町9-23
高松保線区 多度津駐在	仲多度郡多度津町栄町3-3
土木技術センター	高松市浜ノ町8-24
高松機械建築区	高松市浜ノ町9-23
高松電気区	高松市浜ノ町9-23
高松電気区 多度津駐在	仲多度郡多度津町栄町3-3-1-6
高松電気区 観音寺駐在	観音寺市栄町1-4-47

## 事業所の名称及び所在地

No.	名称	所在地	種類
①	第一種エネルギー管理指定工場等及び第二種エネルギー管理指定工場等		
1			
2			
3			
4			
5			
6			
②	その他の事業所		
7	四国旅客鉄道株式会社 鉄道事業用車両		
8	四国旅客鉄道株式会社 鉄道事業用車両以外		
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

## 地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 5 年度					
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>お客様のご利用状況等を勘案して効率的な車両運用を実施する。</li> <li>省エネ型の変圧器や空調装置の導入、LED電球への取替を実施する。</li> </ul>					
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度 (令和 5 年度)		
					二酸化炭素換算 (t)		
		<input type="checkbox"/> 森林の整備等			t-CO <sub>2</sub>		
		<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用			t-CO <sub>2</sub>		
		グリーン電力証書の購入			t-CO <sub>2</sub>		
		グリーン熱証書の購入			t-CO <sub>2</sub>		
		オフセット・クレジットの購入			t-CO <sub>2</sub>		
		国内クレジットの購入			t-CO <sub>2</sub>		
	J-クレジットの購入			t-CO <sub>2</sub>			
	非化石証書の購入			t-CO <sub>2</sub>			
合 計			① t-CO <sub>2</sub>				
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (令和 4 年度)	目標年度 (令和 7 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 5 年度)	対基準 年度比 (%)
		温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 21,540 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算(t)) 21,879 t-CO <sub>2</sub>	101.6	(二酸化炭素換算(t))③ 19,019 t-CO <sub>2</sub>	88.3
		<input type="checkbox"/> 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 21,540 t-CO <sub>2</sub>	(二酸化炭素換算(t)) 21,879 t-CO <sub>2</sub>	101.6	(二酸化炭素換算(t))③-① 19,019 t-CO <sub>2</sub>	88.3
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B	0.00476	0.00531	111.6	0.00446	93.7
		温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B	4525198 (列車走行キロ)	4122461 (列車走行キロ)	91.1	4262812 (列車走行キロ)	94.2
排出量等の 増減理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的な車両運用</li> </ul>						
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2排出量は香川県内にある事業者で報告されている数値を算出。</li> </ul>						

(注)

1 「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。

2 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3 「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。

【別表2】

(令和5年度)

事業所名 四国旅客鉄道株式会社 鉄道事業用車両

エネルギーの種類		エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
		数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C			
燃料	原油 (コンデンセートを除く)		kL			kL				
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL				
	揮発油 (ガソリン)		kL			kL				
	ナフサ		kL			kL				
	灯油		kL			kL				
	軽油	3466	kL	131,708		kL		131,708	9,079.1	
	A重油		kL			kL				
	B・C重油		kL			kL				
	石油アスファルト		t			t				
	石油コークス		t			t				
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t			t			
		石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>			
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t			t			
		その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>			
	石炭	原料炭		t			t			
		一般炭		t			t			
		無煙炭		t			t			
	石炭コークス		t			t				
	コールタール		t			t				
	コークス炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>				
	高炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>				
	転炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>				
	その他の燃料									
小計 ①									9,079.1	
都市ガス	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (千m <sup>3</sup> )	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	数値 D	単位		数値 F	単位					
都市ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
小計 ②										
産業用蒸気	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C				
	産業用蒸気		GJ			GJ				
	産業用以外の蒸気		GJ			GJ				
	温水		GJ			GJ				
冷水		GJ			GJ					
小計 ③										
エネルギーの種類		数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
電気	一般送配電事業者が維持し、及び運用する電線路を介して供給された電気	昼間買電	13652	千kWh		千kWh		13,652	5,051.2	
		夜間買電		千kWh		千kWh				
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh				
		自家発電		千kWh		千kWh				
小計 ④									5,051.2	
合計 (t-CO <sub>2</sub> ) ⑤=①+②+③+④									14,130.3	

電気事業者・排出係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh) : 四国電力 0.00037

【別表2】

(令和5年度)

事業所名 四国旅客鉄道株式会社 鉄道事業用車両以外

エネルギーの種類	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=E-G (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
原油 (コンデンセートを除く)		kL			kL			
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL			
揮発油 (ガソリン)		kL			kL			
ナフサ		kL			kL			
灯油		kL			kL			
軽油		kL			kL			
A重油		kL			kL			
B・C重油		kL			kL			
石油アスファルト		t			t			
石油コークス		t			t			
石油ガス	液化石油ガス(LPG)	1.03	t	52	t		52	3.1
	石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>			
可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t			
	その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>			
石炭	原料炭		t		t			
	一般炭		t		t			
	無煙炭		t		t			
石炭コークス		t			t			
コールタール		t			t			
コークス炉ガス			千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>			
高炉ガス			千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>			
転炉ガス			千m <sup>3</sup>		千m <sup>3</sup>			
その他の燃料								
小計 ①								3.1
都市ガス	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (千m <sup>3</sup> )	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	数値 D	単位		数値 F	単位			
	71.745	千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>		72	153.2
小計 ②								153.2
産業用蒸気	エネルギー使用量			販売されたエネルギーの量			H=D-F (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	数値 D	単位	熱量(GJ) E=D×C	数値 F	単位	熱量(GJ) G=F×C		
		GJ			GJ			
産業用以外の蒸気		GJ			GJ			
温水		GJ			GJ			
冷水		GJ			GJ			
小計 ③								
エネルギーの種類	数値 D	単位		数値 F	単位		H=D-F (千kWh)	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
電気	一般送配電事業者 が維持し、及び運用 する電線路を介して 供給された電気	昼間買電	12206	千kWh		千kWh	12,206	4,516.2
		夜間買電		千kWh		千kWh		
	その他	上記以外の買電		千kWh		千kWh		
		自家発電		千kWh		千kWh		
小計 ④								4,516.2
合計 (t-CO <sub>2</sub> ) ⑤=①+②+③+④								4,672.5

電気事業者・排出係数(t-CO<sub>2</sub>/kWh) : 四国電力 0.00037

事業所名	自動車 エネルギー使用量・台数												
	ガソリン (kL)			軽油 (kL)			LPG (t)			都市ガス (CNG) (千m <sup>3</sup> )		その他	
	台数(台)			台数(台)			台数(台)			台数(台)		台数(台)	
	総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く		総台数	軽自動車除く	総台数	軽自動車除く
	63.33	54	44	27.798	5	5							
合計	63.33	54	44	27.80	5	5							

エネルギーの種類	エネルギー使用量			単位発熱量		二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	数値 A	単位	熱量 (GJ) B=A×C	数値 C	単位	
ガソリン	63.33	kL	2,115.22	33.4	GJ/kL	145.03
軽油	27.80	kL	1,056.32	38.0	GJ/kL	72.82
LPG		t		50.1	GJ/t	
				排出係数		
				数値 D	単位	
都市ガス (CNG)		千m <sup>3</sup>			t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>	
合計						217.85

※ LPGの液体密度は、一般に0.50~0.60kg/lですが、デフォルト値として0.56kg/lを用いても構いません。

(数値把握の方法)

- 燃料法 (直接、燃料使用量を把握する方法) によるもの
- 燃費法 (車両の燃費と走行距離により燃料使用量を把握する方法) によるもの
- その他の方法 ( )

集計表

区分	令和 5 年度 (t-CO <sub>2</sub> )
エネルギー起源二酸化炭素の排出量 (別表 2)	18,802
自動車の使用に伴って発生する二酸化炭素の排出量 (別表 5)	217
エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量	
***	
***	
***	
***	
***	
***	
***	
合計	19,019